

松戸市男女共同参画プラン第5次実施計画と第6次実施計画(主な相違点)

	第5次実施計画	第6次実施計画
計画期間	平成30(2018)年度～令和4(2022)年度(5年間)	令和5(2023)年度～令和9(2027)年度(5年間)
基本理念	「男女共同参画プラン」を継承 基本理念「自分らしく安心して暮らせるまち」	「男女共同参画プラン」を継承 基本理念(1)あらゆる分野における男女共同参画の推進 (2)固定的性別役割分担意識の解消、ジェンダー平等意識の醸成 (3)人権の尊重
基本目標 (めざすまち)	【めざすまち】 Ⅰ 女性も男性も支え合えるまち Ⅱ いろいろな家族のかたちを尊重するまち Ⅲ 女性も男性も地域でつながりあうまち	【基本目標】 Ⅰ あらゆる分野における男女共同参画の推進 Ⅱ すべての人が尊厳をもって生きることができる社会の構築 Ⅲ 教育等を通じた意識改革、理解の促進
主な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・従前の実施計画を踏襲し、基本理念を含む上位目的を「男女共同参画のまちづくり」の視点で考察 ・施策レベルの上位に11の「課題」を設定するとともに、うち6つを「重点的に取り組む課題」として整理 ・計画書とは別に「事業評価報告書」により23課110事業の評価を行っていた方法を見直すとともに、目標・課題を絞り、計画内に「活動目標」と「成果目標」を設定 ・従來說明会を主に行っていた方法を見直し、市民等に対してはパブリックコメント(意見募集)手続きを経て計画を策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる分野の取組を男女共同参画の視点を持って進めることを強調 ・SDGs(「持続可能な開発目標」)の目標を達成するには「ジェンダー平等の実現」が不可欠であることから、関連する項目をそれぞれの課題に紐付け ・教育の重要性に鑑み、教育を「基本目標」レベルへ格上げ ・政策・方針決定過程への女性の参画促進の重要性を強調 ・防災における男女共同参画は国でも重要視されており、課題として設定 ・初めて「多様な性」に関する課題を設定し、LGBT等性的マイノリティに対する理解促進や配慮を明記 ・コロナ禍を踏まえ、感染症など社会経済状況の変化による影響に着目し、平常時からの取組みの重要性に言及 ・「活動目標」と「成果目標」に分けた目標設定を変更
評価の指標	「活動目標」と「成果目標」に分けて目標値を設定 <ul style="list-style-type: none"> ・「活動目標」(毎年の計画事業の実績値により達成度を調査)……16指標 ・「成果目標」(5年毎の市民意識調査により経年変化を調査)……8指標 	「課題」及び「方策」ごとに目標値を設定 <ul style="list-style-type: none"> ・毎年の計画事業の実績値により達成度を調査……22指標 ・5年毎の市民意識調査により経年変化を調査……14指標